

特別展

「ウメサオタダ才展」

みんなく初代館長・梅棹忠夫の軌跡をたどり未来をみつめる特別企画
日本のような問題も、日本だけでは解決できない、そんな現代だからこそ、世界への知的好奇心は欠かせません。世界中にあるさまざまな感動を記録した、ウメサオタダ才の生涯を、みんなくで「探検」してください。そして、世界へのあくなき好奇心をお持ち帰りください。
会期 6月14日(火)まで
会場 特別展示館

◆関連イベント

◆企画展

「民族学者 梅棹忠夫の眼」
梅棹忠夫が、世界各地で自身が撮影した写真のなかから自ら46点を選び、国内各地で開催した写真展「民族学者 梅棹忠夫の眼」を再現します。
会期 6月14日(火)まで
会場 本館展示場内

みんなくウィークエンド・サロン

◆「民族学者 梅棹忠夫の眼」
みんなく名誉教授が梅棹先生の人柄や研究についてお話しします。詳細は24ページをご覧ください。



◆「民族学者 梅棹忠夫の眼」
みんなく名誉教授が梅棹先生の人柄や研究についてお話しします。詳細は24ページをご覧ください。



◆「民族学者 梅棹忠夫の眼」
みんなく名誉教授が梅棹先生の人柄や研究についてお話しします。詳細は24ページをご覧ください。

どつぷりオセアニア——夏のみんぱく
フォーラム2011
面積のほとんどを海が占めるオセアニアの人々は西洋世界などに出会うはるか前から、高度な航海技術をはじめとした独自の文化を育みながら生活してきました。その一端を、多彩なプログラムを通じて紹介します。
開催期間 6月19日(日)～8月21日(日)

◆研究公演

「フラを知る、フラを踊る」

日時 7月23日(土) 13時30分～15時45分
場所 講堂(定員450名) ※参加無料、要申込
申込締切 7月7日(木) 必着

◆研究公演

「カウア儀礼と天地創造のドラマ」

日時 7月30日(土) 14時～15時30分
場所 本館1階エントランスホール
※参加無料、申込不要

◆研究公演

「カウア儀礼と天地創造のドラマ」

日時 7月31日(日) 13時30分～16時45分
場所 講堂(定員450名) ※参加無料、要申込
申込締切 7月14日(木) 必着

◆研究公演

「カウア儀礼と天地創造のドラマ」

日時 7月31日(日) 13時30分～16時45分
場所 講堂(定員450名) ※参加無料、要申込
申込締切 7月14日(木) 必着

◆研究公演

「カウア儀礼と天地創造のドラマ」

日時 7月31日(日) 13時30分～16時45分
場所 講堂(定員450名) ※参加無料、要申込
申込締切 7月14日(木) 必着

◆研究公演

「カウア儀礼と天地創造のドラマ」

日時 7月31日(日) 13時30分～16時45分
場所 講堂(定員450名) ※参加無料、要申込
申込締切 7月14日(木) 必着

◆研究公演

「カウア儀礼と天地創造のドラマ」

日時 7月31日(日) 13時30分～16時45分
場所 講堂(定員450名) ※参加無料、要申込
申込締切 7月14日(木) 必着

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員登録必須)

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

第397回 7月2日(土) 14時～15時
織フェルトの動物づくし

発達したのかを研究するためのワークショップを一般に公開します。(アメリカ手話・日本語・英語・日本語使用、同時通訳付き)
日時 7月28日(木) 8時30分～14時(予定)
場所 講堂(定員450名) ※参加無料、要申込
※わくわくはホームページをご覧ください。
http://www.minpaku.ac.jp/research/pr/10728.html
お問い合わせ
i:chi.shuwa@minpaku.ac.jp

◆国際シンポジウム

「アジア・太平洋地域諸言語の歴史研究の手法—日本語の起源は解明できるのか—」

日本やその周辺地域で話されることばの歴史については、まだわかっていないことがたくさんあります。研究者によるシンポジウムを一般の方にも聞いていただくよう、公開を行います。(英語、日本語への同時通訳付き)
日時 7月30日(土) 9時～18時
場所 講堂(450名) ※参加無料、要申込
※わくわくはホームページをご覧ください。
http://www.minpaku.ac.jp/research/pr/10720.html
お問い合わせ
i:chi.hong@minpaku.ac.jp

◆国際ワークショップ

「手話の歴史言語学—データベースの構築と一般歴史言語学における展開を目指して—」

世界で話されるさまざまな手話がどのように

◆国際ワークショップ

「手話の歴史言語学—データベースの構築と一般歴史言語学における展開を目指して—」

世界で話されるさまざまな手話がどのように

◆国際ワークショップ

「手話の歴史言語学—データベースの構築と一般歴史言語学における展開を目指して—」

世界で話されるさまざまな手話がどのように

◆国際ワークショップ

「手話の歴史言語学—データベースの構築と一般歴史言語学における展開を目指して—」

世界で話されるさまざまな手話がどのように

◆国際ワークショップ

「手話の歴史言語学—データベースの構築と一般歴史言語学における展開を目指して—」

世界で話されるさまざまな手話がどのように

◆国際ワークショップ

「手話の歴史言語学—データベースの構築と一般歴史言語学における展開を目指して—」

世界で話されるさまざまな手話がどのように

刊行物紹介

■池谷和信・白水智 責任編集

『山と森の環境史』

文一総合出版 定価:4,200円



日本列島は、なぜ生物多様性が高いのか。人間の歴史と生物の歴史の両面から検討する。とりわけ、ここでは東北日本の山村の歴史を、自然の恵みの豊かさや脆弱さ、自然資源をめぐる人間社会の葛藤として示し、将来の方向を探る。

■榎真真佐夫 著

『黒タイ年代記—「タイ・プー・サック」』

雄山閣 定価:6,510円



ベトナムに居住する少数民族、黒タイの村における民族的調査と識者への聞き取りの成果に基づき、古い年代記「タイ・プー・サック」の内容を詳しく、平易に紹介した本です。

音楽の祭日2011 in みんなく
1982年にフランスで、夏至の日にみんなく音楽を楽しむ「音楽の祭典」がはじまり

音楽の祭日2011 in みんなく
1982年にフランスで、夏至の日にみんなく音楽を楽しむ「音楽の祭典」がはじまり

した。みんなくも、9年連続して世界のさまざまな楽器を使った音楽で「音楽の祭日」を祝います。
日時 6月26日(日) 10時15分～16時45分
場所 特別展示館1階および本館1階エントランスホール
※参加無料(当日は無料観覧日です)、申込不要
お問い合わせ
情報企画課 展示グループ
電話 06-6878-8532

◆無料観覧日のお知らせ

6月26日(日)は本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園を通行される場合は、入園料が必要です。

東日本大震災被災地に対する本館の取り組みについて

国立民族学博物館では、今回の災害に際しまして、地震等被災地の皆様へ、ご支援・ご協力していただくため、様々な取り組みを進めております。一例として、4月16日(土)から当分の間、被災者支援の一助として、被災対象地の方(同伴の方を含む)が本館の展示を観覧される場合は、お申し出により観覧料を免除させていただきます。観覧料の免除対象など詳細についてはホームページでご確認ください。

*お問い合わせの受付時間は9時から17時(土、日、祝を除く)です。

国立民族学博物館
ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

ノクシカタの魅力

ノクシカタは、バングラディシユの伝統的な刺しゅうです。ベンガル語で「ノクシ」は「縫つ」、「カタ」は「布」を意味します。元々使い古したサリーなどを2～3層にして縫い合わせ、刺し子を施して布回力パーや肌かけにして再利用するというリサイクルの技術から生まれました。
バングラディシユの独立(1971年)後には、貧しい女性の収入を向上させるための仕事として、ノクシカタの商品作りがNGOによって始まりました。刺しゅうの模様には、ベンガル地方の自然や動物、生活の様子、そして人びとの思想が色濃く反映されています。



ハンカチ、ペンケース、小物入れ、ポーチ他 945円～
詳細はミュージアム・ショップにお尋ねください。

※他、クッションカバー、大型タペストリーなど多種ございます。